



# 富津市公共交通網に関する報告書

平成 29 年 7 月 31 日

富津市議会 地方創生研究会

# 目次

<b>I</b> はじめに .....	1
<b>II</b> 委員名簿 .....	2
<b>III</b> 研究会・調査等	
第1回～第4回・研究会 .....	3
第5回～第7回・研究会 .....	4
第8回～第10回・研究会 .....	5
<b>IV</b> 資料	
A. 市内路線バス・利用者アンケート用紙 .....	6
B. 市内路線バス乗降調査とアンケート結果 .....	7
C. 視察報告・君津市デマンドタクシー .....	8・9・10
D. 富津市議会 地方創生研究会 設置要領 .....	11
<b>V</b> 富津市公共交通網（天羽地域）案 .....	12・13
<b>VI</b> 今後の課題と動向 .....	14
<b>VII</b> 終わりに .....	15

## I はじめに

昨年4月の富津市議会議員選挙後に開催された、6月定例議会最終日に、富津市議会に2つの研究会が設置されました。「議会改革推進研究会」と「地方創生研究会」で、各7名の委員で構成され、議長・副議長はオブザーバーとして発言が認められています。

富津市議会地方創生研究会の設置要領には、第1条に「地方創生の諸施策について調査研究を行う」とあり、また第2条には「その結果を議長に報告するもの」とあります。この要領にそって、調査研究結果を報告いたします。

最初に、「地方創生の諸施策」の中で、今回は何をテーマにするか、研究会においてさまざま検討した結果、「市内の公共交通網」と決め、研究会の開催は基本的に月1回、調査研究期間を1年としました。今年7月で、ちょうど1年を迎えますので、ここに「富津市の公共交通網」についての報告書を議長に提出いたします。

平成29年7月31日

富津市議会 地方創生研究会



上総湊駅発6:58の通勤快速。7:11に青堀駅の跨線橋から撮影。京葉線回りで、8:36東京駅着



大貫駅東口を出発し、富津市役所を通り君津駅南口まで行く「富津市役所・君津駅線」。

## Ⅱ 富津市議会 地方創生研究会 委員名簿

平成 28 年 6 月 24 日

議席 番号	氏 名	住 所	電話番号	役 職	会派名
12	藤川 正美	千種新田 696	65-1799	会 長	無会派
9	松原 和江	竹岡 208-67	67-8328	副会長	無会派
16	福原 敏夫	青木 1618-9	87-0816		自由民主 賢政会
13	永井 庄一郎	竹岡 1214	67-8332		保守の会
6	山田 重雄	湊 178	67-0795		保守の会
5	千倉 淳子	竹岡 1302	67-8906		無会派
2	諸岡 賛陞	金谷 2505	69-2552		保守の会

## Ⅳ 研究会・調査等

本研究会として、今まで10回の会合と現地調査・先進地視察を重ねてきました。ここで、各回での主な内容と、併せて市の動向を記載します。

市議会 地方創生研究会	開催年月日	富津市の動向
<p>第1回 研究会 会長・副会長の互選、次回は7月末予定。</p>	平成28年 6月24日	
<p>第2回 研究会 研究テーマを「市内公共交通網」に決定し、 月1回程度開催し、研究期間を1年とする。 次回は、市内路線バスの現状把握のため、 執行部に説明を要望。</p>	8月2日	
<p>第3回 研究会 市内路線バスの現状について、執行部の小 泉総務部長・池本次長・重城企画課長・赤 井主任主事から説明を受け、その後質疑。 執行部退場後、今後の活動について協議。 市民のナマの声を聞くため、路線バスに乗 車しアンケートの実施を決める。案につい ては、次回までに会長が準備。</p>	9月2日	高橋市長就任式 (10月6日)
<p>第4回 研究会 市内路線バスの調査方法と、その際使用す るアンケート用紙の内容検討。市から補助 金を出している、市内5路線バスの担当委 員を協議し、調査結果の提出日を決める。 福祉有償運送、ウーバーについて学習。</p>	10月17日	
<p>市内路線バスの調査 ※資料A、Bを参照(P. 6.7)</p>	10月～ 11月	富津市公共交通に 関する研修会(11 月1日/富津市消 防防災センター・ 会議室)

市議会 地方創生研究会	開催年月日	富津市の動向
<p>第5回 研究会</p> <p>市内路線バスのアンケート調査結果を各委員から報告。それについての質疑応答。</p> <p>君津市のデマンドタクシーの視察を12月21日に決定。現地（上総地域交流センター）に午前10時集合で決まる。</p>	11月14日	
<p>視察・君津市デマンドタクシー</p> <p>※資料Cを参照（P. 8. 9.10）</p>	12月21日	
<p>第6回 研究会</p> <p>君津市デマンドタクシーの視察結果について意見交換。公共交通で参考になる自治体名を聞く。近隣市（いすみ市・山武市・鋸南町）、加古川市などがあがる。本研究会の今後の活動について協議し、富津市全体を対象ではなく、一部のモデルケースから始めようとなり、天羽地域に決まる。</p>	平成29年 1月25日	平成28年度・第1回富津市公共交通会議（2月1日/富津市役所・大会議室）
<p>第7回 研究会</p> <p>各委員が、富津市に合った公共交通網について研究発表をする。現存の路線バスの在り方に疑問を抱くも、具体的な案については、それぞれ考えがあり統一の考えには至らない。</p> <p>参考になる自治体として、川越市・南房総市・東御市・身延町などがあがる。</p>	3月28日	富津市地域公共交通網形成計画策定調査業務委託公募型プロポーザル（3月21日/富津市HPで公告）
<p>第8回 研究会</p> <p>再度、各委員から富津市に合った公共交通網について研究報告をする。他市の視察に</p>	4月20日	

市議会 地方創生研究会	開催年月日	富津市の動向
<p>行った委員から、鋸南町・東御市・小諸市の資料を配布される。マイカー有償運送の資料も配布。</p>		
<p>第9回 研究会</p> <p>再度、各委員から天羽地域における地域公共交通の具体策の発表をする。文章・図などの提出となったが、これに沿った委員は3名のみ。統一案のまとめは困難を感じる。</p>	5月23日	<p>富津市地域公共交通網形成計画策定調査業務委託公募型プロポーザル/契約締結(6月日)</p>
<p>第10回 研究会</p> <p>会長・副会長が作成した報告書(案)について、各委員からの意見をもらう。修正後、再度添削をお願いし、今月中に議長に提出予定。</p>	7月11日	<p>平成29年度・第1回富津市公共交通会議(6月28日/富津市役所・大会議室)</p> <p>富津市公共交通に関する市民アンケート調査票締切日(7月9日)</p>
<p>議長に報告書を提出</p>	7月31日	<p>平成29年度・第2回富津市公共交通会議(10月2日/富津市役所・大会議室)</p>

## Ⅳ 資料 A

### 【 市内路線バス・利用者アンケート】

- 調査路線
- ① 竹岡線  上総湊駅～東京湾フェリー  
 上総湊駅～高島別荘入口
  - ② 戸面原線  上総湊駅～戸面原ダム
  - ③ 富津公園線・笹毛線  上総湊駅～富津公園  
 佐貫町駅～笹毛
  - ④ 富津市役所・君津駅線  大貫駅東口～君津駅南口
  - ⑤ 鹿野山線  佐貫町駅～神野寺
- 調査日 平成 28 年 月 日 ( ) \_\_\_\_\_ : \_\_\_\_\_
- 性別 ( 男・女 )                      ● 年齢 (                      歳 )
- 乗車目的 ( 通勤・通学・私用・観光・その他 )
- このバスへの要望 ( 増便・低料金・新車両・その他 )
- このバスが無かったら……  
( 家族に頼む・友人知人に頼む・自転車・バイク・  
タクシー・仕事を変える・その他 )
- 市内公共交通への要望

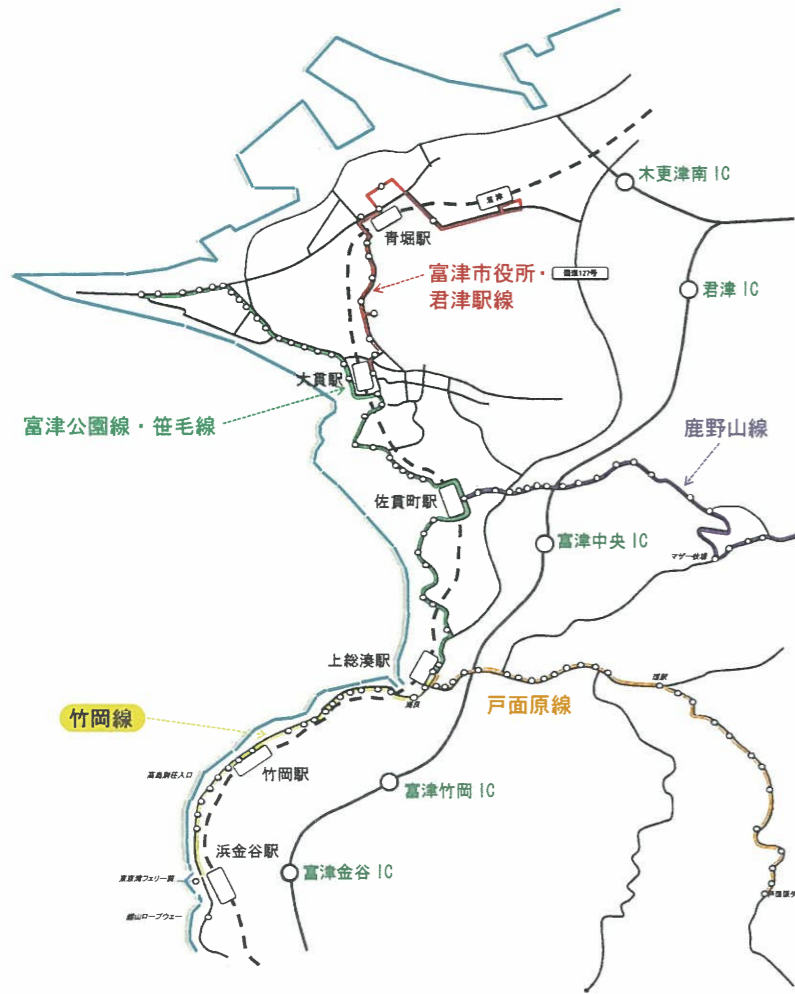
ご協力、ありがとうございました。

■ 富津市議会・地方創生研究会 2016



Ⅳ 資料 B

▼市内路線バス図



● 富津市内路線バスの乗降調査とアンケート結果

調査路線	調査員	調査日	調査時間	アンケート内容					
				性別	年齢	乗車目的	現状への要望	バスの代替	市内公共交通への要望
① 竹岡線 □上総湊駅～東京湾フェリー □上総湊駅～高島別荘入口	松原委員	10/24(月)	6:40~6:52	乗客なし	10代1名 20代0名 30代0名 40代0名 50代1名 60代1名 70代1名 80代2名	通勤1名 通学0名 私用3名 観光0名 その他2名 アルバイト・遊興	増便5名 低料金1名 新車両0名 その他0名	家族に頼む0名 友人知人に頼む0名 自転車1名 バイク0名 タクシー2名 仕事を変える1名 その他2名 徒歩、分からない	・自宅から駅まで遠い ・高齢になると運転ができないので公共交通は必須 ・巡回バスが欲しい
	千倉委員	10/30(日)	8:35~8:52 9:15~9:32	男2名 女4名					
② 戸面原線 □上総湊駅～戸面原ダム	永井委員	10/23(日)	10:30~10:54	男1名 女3名	10代1名 20代1名 30代0名 40代0名 50代0名 60代1名 70代4名 80代2名	通勤3名 通学0名 私用5名 観光0名 その他1名	増便5名 低料金4名 新車両2名 その他0名	家族に頼む4名 友人知人に頼む2名 自転車3名 バイク0名 タクシー1名 仕事を変える0名 その他5名	・増便(昼間) ・スイカが利用できるように。
	山田委員	10/25(火)	8:16~8:40 9:10~9:34	男2名 女4名					
③ 富津公園線・笹毛線 □上総湊駅～富津公園 □佐貫町駅～笹毛	藤川委員	10/28(金)	7:11~7:48 8:00~8:23	男11名 女16名	10代26名 20代0名 30代0名 40代0名 50代0名 60代0名 70代3名 80代1名	通勤0名 通学26名 私用2名 観光0名 その他1名 病院	増便3名 低料金0名 新車両23名 その他1名	家族に頼む19名 友人知人に頼む0名 自転車0名 バイク0名 タクシー0名 仕事を変える0名 その他5名 徒歩、分からない、自家用車	・便数・バス停の増 ・電車の運行時間に合わせてほしい
	諸岡委員	10/30(日)	8:24~9:01 10:37~11:00	男3名 女0名					
④ 富津市役所・君津駅線 □大貫駅東口～君津駅南口	福原委員	11/4(金)	10:16~10:47	男3名 女2名	10代0名 20代0名 30代0名 40代1名 50代0名 60代3名 70代1名 80代1名	通勤1名 通学0名 私用4名 観光0名 その他2名	増便4名 低料金1名 新車両0名 その他1名	家族に頼む0名 友人知人に頼む0名 自転車1名 バイク0名 タクシー1名 仕事を変える0名	・是非、続行してもらいたい ・青堀駅を利用したいが階段がきつい。
	山田委員	11/6(日)	8:10~8:37	男0名 女2名					
⑤ 鹿野山線 □佐貫町駅～神野寺	藤川委員	2017年 7/18(火)	11:00~11:37	男2名 女3名	3歳1名 30代2名 70代2名	通勤0名 通学0名 私用0名 観光5名	増便5名 低料金0名 新車両0名		

\*アンケート項目に記入が無かったり、複数回答のため、数に整合性がない部分があります。また、小学生低学年は10代に含めてあります。

▼乗降調査・アンケート結果に対する委員の印象

① 竹岡線

「このバスが無くなったら仕事を変えなきゃならない」との利用者の声。一番多かった要望が、増便。また、電車の時間に合わせたバス時刻表の改善の声もありました。利用者からの直接の要望ではありませんが、バス停まで来れない人の需要もあることを感じています。

② 戸面原線

上総湊駅から戸面原ダムまで往復1,200円。毎日になると深刻。印象はアンケート結果の通りですが、利用者の声などは、現場のバス運転手が豊富な情報を持っているを知りました。

③ 富津公園・笹毛線

要望が多かったのは、増便。子供からは、古い車輛から新車輛への要望。また、電車への乗り継ぎの不便さを聞いたが、乗る人に合わせるのか、降りる人に合わせるのか、難しい問題です。アンケートの結果では見えない情報が現場にあることを痛感しました。

④ 富津市役所・君津駅線

路線バスのコースの在り方や、電車への乗り継ぎへの課題を感じました。バス運行上の規制もあると思うが、手を挙げたら乗れるような利便性もあって良いのではと思いました。

⑤ 鹿野山線

乗降調査数を基に、乗るであろうと予測したバス停から乗車しましたが、会うことができませんでした。代わりにマザー牧場に泊った外国人観光客ファミリーに会いました。

## Ⅳ 資料 C

### 君津市デマンドタクシー「きみぴょん号」の視察

平成 28 年 12 月 21 日（水） 10：00～12：00 上総地区交流センター

#### 1. 事業の目的と背景と実証実験の実施

君津市の東部に位置する小櫃及び上総地区の一部は、JR 久留里線が運行しているものの、バス等の生活交通が運行していない交通不便地域であることに加え、高齢化率が高く、住宅地が地域内に広く散在しているため、従来の定時定路線型のバスの運行では多様化する市民ニーズを満たすことは困難であり、非効率な運行となることが予想されました。

このような特性を持つ地域において、デマンド交通システムを活用し、地域住民の移動手段の確保を図るとともに、予約制の乗合運行（ドアー・ツー・ドアー方式）という新たな利用形態が本市に適しているかなどを検証するため、平成 23 年 11 月から実証実験を実施しました。

平成 24 年度から、亀山地区を運行しているコミュニティバスの利用者減少により、あらたに亀山地区を運行範囲に加え、小櫃・上総地区を一体とした公共交通の充実と財政負担の軽減の両立を図るため、平成 24 年 9 月から実証実験を実施しました。

#### 2. 本運行への移行

実証実験の利用状況や潜在需要等を考慮し、平成 25 年 10 月より本運行を開始しました。

本運行にあたっては、JR 久留里線に接続し、地域住民や観光客等の二次交通としての役割を担い、地域公共交通の確保・維持を目的とし、安全かつ快適で効率的な運行や実証実験で出た問題を解決するため、価格競争のみで事業者を決定するのではなく、業務におけるサービスの品質、企画内容などを総合的に審査することにより運行業者を選定することにしました。

また、観光客及び利用登録をしていない市民等が、デマンドタクシーを利用した場合に事前登録者との差別化を図るため、運賃区分を変更しました。

#### 【運行内容】

- 運行区域 小櫃・上総（久留里・松丘・亀山）地区
- 運行台数 平日 3 台、土・日・祝日及び年末年始（12/29～1/3）2 台
- 運行時間帯 午前 8 時（出発地発）～ 午後 6 時（目的地着）

- 利用できる人 一人で乗降できる方 ・介助者が同上される場合は可。
- 乗降場所 予め決められた運行区域内の共通乗降場や利用者登録された方の自宅付近を乗降場として利用できます。
- 予約受付 午前8時～午後6時（オペレーター対応）
  - ・乗車の1週間前から30分前までの予約ができます。
  - ・午前9時まで乗車の予約は、前日までに。
- 予約電話番号 君津デマンド営業所 TEL: 0439-27-3188
  - ・メール予約も受け付けています。
- 運行車両 ワゴン型車両（定員 10名）2台  
セダン型車両（定員 5名）1台
- 運行事業者 大新東株式会社

区 分	利用登録者	利用登録がない方
大人	400円	500円
小・中・高校生	300円	
65歳以上		
※小学生未満は無料（保護者同伴、要予約）		

### 3. 利用者数と市負担額の推移（デマンドタクシーとコミュニティバスのみ）

路線	内 訳	H. 23 年度	H. 24 年度	H. 25 年度	H. 26 年度	H. 27 年度
デマンドタクシー	利用者 (A)	2,271	9,331	15,205	16,268	18,067
	収入 (B)	680,100	1,914,500	3,982,900	4,400,000	5,000,500
	支出 (C)	16,443,498	19,448,984	29,066,730	30,884,460	30,844,800
	収支 (D)	△15,763,398	△17,534,484	△25,083,830	△26,484,460	△25,844,300
	収支率 (B/C)	4.1%	9.8%	13.7%	14.2%	16.2%
	一人当たりの負担額 (D/A)	6941.2	1879.2	1649.7	1628.0	1430.5
コミュニティバス	利用者 (A)	270,883	262,265	233,319	238,732	243,574
	収入 (B)	32,034,711	31,259,482	29,441,370	29,738,387	29,595,311
	支出 (C)	137,912,549	120,488,691	83,785,016	84,445,162	81,588,681
	収支 (D)	△105,877,838	△89,229,209	△54,343,646	△54,706,775	△51,993,370
	収支率 (B/C)	23.2%	24.0%	35.1%	35.2%	36.3%
	一人当たりの負担額 (D/A)	390.9	340.2	233.0	229.1	213.5

※コミュニティバスは、小糸川循環線、中島・豊英線、人見・大和田・神門線、亀山線の合計ですが、亀山線のみが平成24年9月からデマンドタクシーに移行。

#### 4. 地域利用者の声

- いつもすごく助かっています。運転手の方は目的地までの間、会話をしてくださり、とても楽しく乗れています。(10歳代女性)
- デマンドタクシーが廃止になったら、病院や買い物に行くことができません。一人暮らしには大変なことです。これからも運行の維持をお願いします。(60歳代女性)
- 現在は、自分で運転をしているが、近い将来デマンドタクシーを利用して移動することもあると思う。より使いやすくし、便利になることを望んでいます。(50歳代女性)

#### 5. 課題と今後の取組

デマンドタクシー「きみぴょん号」は、JR久留里線の二次交通及び地域の身近な交通手段としての役割を担っていますが、限られた車両で広域な運行しています。このため、利用が集中する時間帯などについては、やむなく利用を断る場合があることから、効率的な配車や乗合の推進を図っていくことが課題です。

また、デマンドタクシーを利用したおでかけプランや観光客を対象としたモデルコースの提案など、利用促進に向けた取り組みを行う予定です。

#### 6. 富津市天羽地域におけるデマンドタクシー導入の問題点（留意点）

- 1) 定時定路バスと重複しない時間帯での運行を行うこと。
- 2) より多くの市民が利用することによる、一人当たり市負担金を軽減すること。
- 3) 年配者の利用を考慮し、乗車時間を30分以内とすること。
- 4) 市の公共交通網整備前でも、先行して行うこと。



君津市の担当者、及び委託業者から、デマンドタクシーについて説明をうける。上総地域交流センターにて。



委託業者の大新東株式会社・君津デマンド営業所で、予約システムの視察。

## Ⅳ 資料 D

### 富津市議会 地方創生研究会 設置要領

(設置)

第1条 地方創生の諸施策について調査研究を行うため、富津市議会に富津市議会地方創生研究会（以下「研究会」という。）を設置する。

(研究事項)

第2条 研究会は、地方創生の諸施策について調査研究を行い、その結果を議長に報告するものとする。

(組織)

第3条 研究会は、委員7人で組織する。

2 委員は、各会派から選出し、次の各号の区分に応じた人数とする。

(1) 保守の会 3人

(2) 自由民主賢政会 1人

(2) 無会派 3人

3 委員の任期は、議員の任期とする。

(会長及び副会長)

第4条 研究会に、会長及び副会長1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によって、これを定める。

3 会長は、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 研究会は、会長が招集し、その議長となる。

2 研究会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 研究会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

4 議長及び副議長は、必要に応じ研究会に出席し、発言することができる。

(補則)

第6条 この要領に定めるもののほか研究会に必要な事項は、会長が研究会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この要領は、平成28年6月24日から施行する。

(この要領の失効)

2 この要領は、平成32年4月24日限り、その効力を失う。

## V 富津市公共交通網（天羽地域）案

本研究会では、各委員からさまざまな意見・考えが出され、10回にわたり協議しましたが、統一的な案には至りませんでした。

多数を占めた考えは、①現状の路線バスは見直すこと、②JRは重要であること、③デマンドは必要であるとの3点です。

デマンドタクシーに関しても、区割

りやアクセスポイントについては、実証実験をしながら状況に応じて修正を加えるとの考えが多数を占めました。

朝夕の出勤・通学時にはミニバン程度の定時運行が必要であるとの声もあり、1つの運営主体というより、複数の運営団体などによる協同の必要性を感じました。



# JR内房線・富津市内6駅の現状

富津市の公共交通の中心はJRとの認識は、本研究会全員の認識でした。そこで現状を理解するために、各駅の情報と、利用者数の変遷を記します。ほとんどの委員が再認識しました。

時刻表も、全体像を理解していただくために文字が小さくなってしまいましたが、敢えて掲載しました。今年3月4日のダイヤ改正で、千葉駅までの直通便が少なくなり、本数も減少したことがわかります。



■青堀駅

営業時間：終日

Suicaの利用：チャージ可

一日平均乗車人員

S. 60・2,431人

H. 17・1,572人

H. 28・1,574人



■大貫駅

営業時間：終日

Suicaの利用：チャージ可

一日平均乗車人員

S. 60・2,670人

H. 17・1,420人

H. 28・1,127人



■佐貫町駅

営業時間：9:30～16:30

Suicaの利用：チャージ可

一日平均乗車人員

S. 60・947人

H. 17・363人

H. 28・261人



■上総湊駅

営業時間：6:45～17:30

Suicaの利用：チャージ可

一日平均乗車人員

S. 60・2,536人

H. 17・1,088人

H. 28・788人



■竹岡駅

無人駅

一日平均乗車人員

S. 60・262人

H. 17・71人

※無人駅のため  
H. 17以降の記録なし



■浜金谷駅

営業時間：7:05～17:20

Suicaの利用：チャージ可

一日平均乗車人員

S. 60・954人

H. 17・403人

H. 28・300人

※営業時間とは駅員がいる時間帯のことで、終日いるのは青堀駅と大貫駅のみです。他の駅は、表示した時間帯のみです。

## ●JR内房線時刻表(下り・上り)

内房線…千葉～勝田間は167～167ページの外房線と併せてご覧ください。  
電武快速・横須賀線は126～139ページをご覧ください。

駅	下り		上り	
	時刻	遅延	時刻	遅延
29 下房線	...	...	...	...
28 館山	...	...	...	...
27 安房鴨川	...	...	...	...
26 館山	...	...	...	...
25 安房鴨川	...	...	...	...
24 館山	...	...	...	...
23 安房鴨川	...	...	...	...
22 館山	...	...	...	...
21 安房鴨川	...	...	...	...
20 館山	...	...	...	...
19 安房鴨川	...	...	...	...
18 館山	...	...	...	...
17 安房鴨川	...	...	...	...
16 館山	...	...	...	...
15 安房鴨川	...	...	...	...
14 館山	...	...	...	...
13 安房鴨川	...	...	...	...
12 館山	...	...	...	...
11 安房鴨川	...	...	...	...
10 館山	...	...	...	...
9 安房鴨川	...	...	...	...
8 館山	...	...	...	...
7 安房鴨川	...	...	...	...
6 館山	...	...	...	...
5 安房鴨川	...	...	...	...
4 館山	...	...	...	...
3 安房鴨川	...	...	...	...
2 館山	...	...	...	...
1 安房鴨川	...	...	...	...

電武快速・横須賀線は126～139ページをご覧ください。

駅	下り		上り	
	時刻	遅延	時刻	遅延
29 下房線	...	...	...	...
28 館山	...	...	...	...
27 安房鴨川	...	...	...	...
26 館山	...	...	...	...
25 安房鴨川	...	...	...	...
24 館山	...	...	...	...
23 安房鴨川	...	...	...	...
22 館山	...	...	...	...
21 安房鴨川	...	...	...	...
20 館山	...	...	...	...
19 安房鴨川	...	...	...	...
18 館山	...	...	...	...
17 安房鴨川	...	...	...	...
16 館山	...	...	...	...
15 安房鴨川	...	...	...	...
14 館山	...	...	...	...
13 安房鴨川	...	...	...	...
12 館山	...	...	...	...
11 安房鴨川	...	...	...	...
10 館山	...	...	...	...
9 安房鴨川	...	...	...	...
8 館山	...	...	...	...
7 安房鴨川	...	...	...	...
6 館山	...	...	...	...
5 安房鴨川	...	...	...	...
4 館山	...	...	...	...
3 安房鴨川	...	...	...	...
2 館山	...	...	...	...
1 安房鴨川	...	...	...	...

## Ⅵ 今後の課題と動向

### ◎ 運営主体の在り方

バス事業者か、NPO 法人か、商工会か、社会福祉法人か、タクシー協会か、富津市の状況にあった運営主体を考えなければなりません。富津市公共交通会議の協議の場が、ますます重要になると考えます。

### ◎ 市の動き

現在、平成 29 年度の第 1 回富津市公共交通会議が終わり、プロポーザルの業者も決まり、公共交通利用者動向などの調査が動き出しています。これから、これらの資料を基に、富津市のあるべき交通網が形作られてくると感じています。

### ◎ 業界・国の動き

AI の導入で、売上げを 20%アップさせたタクシー会社。また、世界の都市部で拡大しているウーバー。更に、国内でも試験運行が始まった自動運転。7/1 の新聞記事には、以下のような内容がありました。

「トラックの旅客運送解禁／国土交通省は 30 日、トラックが旅客を乗せたり、タクシーや貸し切りのバスが貨物を運んだりする「貨客混載」を、9 月 1 日から解禁する方針を明らかにした。人口減少が進む過疎地が主な対象で、住民の足を確保するとともに、貨物配送の効率化が狙い。利用者の多い朝夕は客を運び、利用者が少ない日中は貨物を運ぶ「掛け持ち」が可能となるため、これらの需要が減っている地域でも運輸業者が営業を続けていけるようになる」と国交省は期待している。」

### ◎ 世界の流れ

〈本年 6/18 付けの新聞記事より〉国連の専門家会議は、人がほとんど操作しない高度な自動運転車の技術の大枠を示す指針について議論をスタートさせる。国連が秋以降に策定作業を本格化する国際的な安全基準の前提となり、自動車メーカーや IT 企業などによる開発を後押しする狙いだ。専門家会議が 19 日からスイス・ジュネーブで開く会合で技術指針の検討に着手。自動運転技術の 1～5 の 5 段階のうち、人工知能 (AI) などのシステムが操作し、緊急時のみ人が運転する「レベル 3」以上が対象となる。レベル 3 の乗用車は市販化されておらず、専門家会議のテーマとなるのも初めて。



## Ⅶ 終わりに

平成 30 年度までに、富津市を縦断する館山道の 4 車線化が完了し、合わせて富津中央インター付近にバスストップと、無料駐車場も完成する予定です。

更に、平成 31 年度には市内小中学校再配置が完了し、それに合わせて 4 月からスクールバスの運行が始まります。また、平成 31 年度は、JR 青堀駅バリアフリー化改修工事も予定されており、富津市は交通網の大きな変化の時を迎えます。

今年度中に、富津市公共交通網の計画が完成する予定となっております。計画が一日も早く実行されることを強く期待するとともに、本研究会も、その実現に向け、今までの研究結果を活かし尽力したいと考えております。



富津市鶴岡の館山道橋上より館山方面を見る。この数百メートル先に、バスストップができる予定。現在、片側 2 車線工事が進行中。